廃棄消防ホースの再利用



消防ホースの多くは、未使用のまま廃棄されています。



10年を超えて使用する場合、耐圧試験が必要な場合も。

経年劣化で水漏れなどが起こるため、 多くは耐圧試験を行わず10年で交換される。

→ 9割以上が未使用のまま廃棄される

消防ホースは丈夫で水にも強い素材のため「**捨ててしまうのはもったいない**」 という想いから、サンライズ防災(株)では消防ホースの再利用を始めました。

2016年から現在までにおよそ5トンの廃棄物を削減しました。(2023年5月)



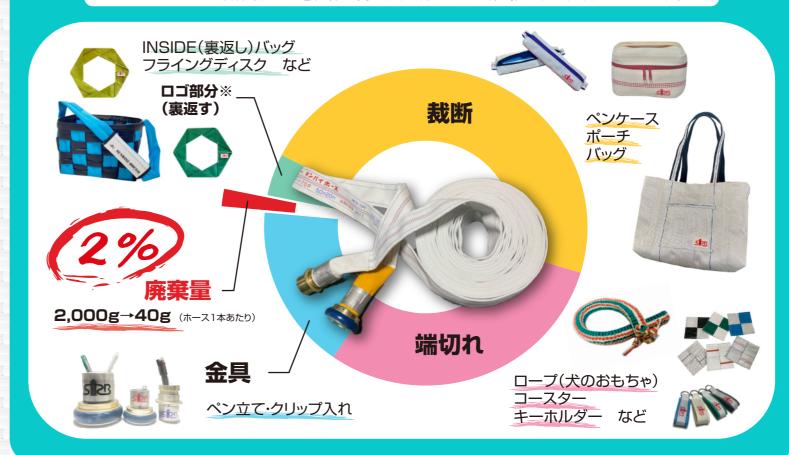
SDGsに該当する取組



- ・消防ホースの廃棄を減らし、焼却により発生する大気汚染を抑える。(3-9)
- ・女性ならではのアイディアやデザインを取り入れる。(5-5)
- ・女性が活躍できる仕事。(8-5)
- ・廃棄物を減らすことにより、環境上の悪影響を軽減する。(11-6)
- ・資源を再利用し、廃棄物の削減に貢献している。(12-5)
- ・気候変動に影響があるCO2の発生を軽減する。(13-3)

廃棄消防赤三ス 再利用の内訳

ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)を目標に掲げ、裁断後の切れ端も捨てずに再利用しています。



※ロゴ入の部分は商標があり使用が出来ないため、ロゴが見えないように加工して再利用しています。



身近にある捨てられてしまう物も アイデア次第で新しいものに 生まれ変わらせることができます。

私たちの活動が、廃棄物の削減について 考えるきっかけになれれば嬉しいです。



別。サンライズ防災株式会社